

琉球銀行、日本NCRの汎用高速スキャナー導入により 事務集中業務の効率化を実現

日本NCR株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小原 琢哉、以下日本NCR）は、株式会社琉球銀行（本店：沖縄県那覇市久茂地1丁目11番1号、取締役頭取：川上 康、以下琉球銀行）が、日本NCR製 汎用高速スキャナーiTRAN Image Trac（アイトランイメージトラック）の導入により、事務集中業務の効率化を実現したことを発表しました。

琉球銀行は沖縄県を中心に本支店61か所、出張所15か所の店舗を持ち、為替や口座振替、税公金などのバックオフィス業務は、事務集中部門が行います。2018年12月、この事務集中部に日本NCRの汎用高速スキャナー iTRAN Image Trac は税公金を中心とした事務集中業務の効率化とカバー率の拡大を目的として導入されました。iTRAN Image Trac はあらゆる帳票スキャンニング基盤として活用が可能なため、既存の事務集中システムとスムーズに連携し、エントリー共有化を実現してきました。

また、iTRAN Image Trac によりこれまで紙で運用していた膨大な伝票のスキャンを行い、全店からの照会がオンラインで可能となりました。

【導入検討時の考慮点】

- 各営業店の伝票をデジタル化し、事務作業のセンター集中化を図る
- 営業店舗業務の効率化

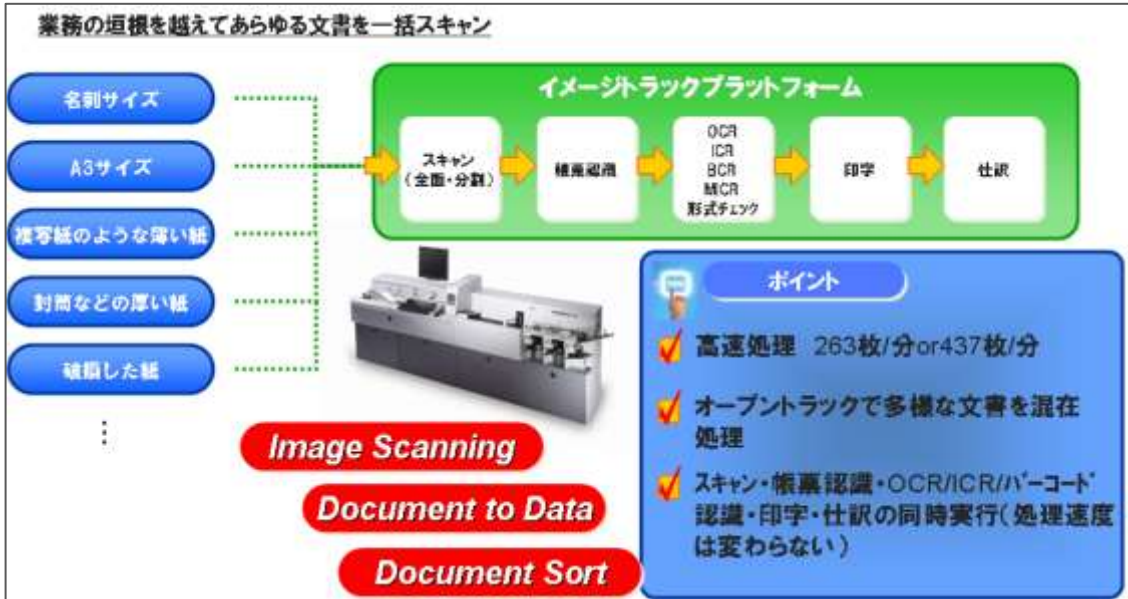
【導入効果】

- 営業店後方事務の集中化
- 既存の事務処理システムとの連携により、導入コストの削減
- 夜間の作業フロー改善に伴い、日中作業の効率化
- 伝票のスキャンイメージが営業店から閲覧可能なため、作業効率が向上
- 人材の有効活用を実現
- 膨大な量の伝票をデジタル化することにより、省スペースが実現
- 店舗の事務スペース削減でお客様待合室を拡大したことにより、お客様満足度の向上

【今後の検討課題】

- 更なる営業店の事務作業の削減・廃止・集中化
- 事務センターにおける他業務システムスキャン業務を集約しイメージワークフローを目指す
- 全ての伝票をデータ化し、店舗の小型化、スペースの効率化

【iTRAN Image Trac (アイトランイメージトラック) 運用イメージ】



iTRAN Image Trac (アイトランイメージトラック)製品概要は日本 NCR Web サイトをご確認ください。
<https://www.ncr.co.jp/products/itrans>

■日本 NCR 株式会社について

日本 NCR は 1920 年の設立以来、日本初のスーパーマーケット開店の支援、日本初のセルフレジ導入、日本初の金融機関向け税公金セルフ収納機ソリューションの展開等をはじめ、常に時代の先端を行くテクノロジーを駆使し、流通・金融業界に革命をもたらしてきました。日本 NCR は世界中のお客様と共に培ったノウハウを活かし、様々な業種のお客様へ時代のニーズにあったソリューションをご提供していきます。NCR は米国ジョージア州アトランタに本社を置き、約 34,000 人の社員と共に 180 か国でビジネスを展開しています。
 ※NCR は、NCR Corporation の米国および他の各国における商標または登録商標です。

◆本件に関するお問い合わせ先◆

日本 NCR 株式会社 役員室 広報担当 佐々木 智子
 Tel. 03-6759-6000 / Fax. 03-3553-1071
 e-mail: pr.jp@ncr.com ホームページ <http://www.ncr.co.jp/>

日本 NCR 広報窓口 共同ピーアール株式会社 児玉 千尋、竹村 良子
 Tel. 03-3571-5176 / Fax. 03-3571-5360 / e-mail: ncrpr@kyodo-pr.co.jp